

主催：劇団スワンの木



新川物語



劇で人々に「助け合いを始めましょう」の活動を啓発

江戸時代に西川の下に新川を掘ったご先祖様の偉業を多くの人に知ってもらい、市民参加演劇の参加者募集を行いました。子供も大人もこのプロジェクトに参加して、人との交流が生まれることが目的。

サルサダンスの体験後の交流会では、育児、生きがい、趣味、家族、ストレス対処法など、ドキドキハラハラな本音トークをしました。また、サルサダンスの体験会は、2才から77歳までの参加がありました。「ラテンの音楽で体を動かしたことでストレス解消になった」など、ラテンの曲の陽気さと初めての体験で皆さんのが解放されたようで、交流会でも色々の話が出て楽しそうでした。気楽に楽しめる陽気なサルサダンスの多世代交流会を度々開きたいと思いました。

「助け合いをしましょう」のテーマで、江戸時代の助け合いと現代を対比する劇を行い、「新川の出来るまでの経緯や歴史が良く分かり、このことを語り継ぐに

はもっとやってほしい、もっと大勢の人を見てほしいと思いました」「高齢化が進む今日、自分自身どう生きるか、地域の支え合いがいかに大切であるかを考えさせられ、出来る事をやっていきたいと思いました」

「新川物語に興味があり観にきましたが、現代の問題に繋げて、人は人と繋がって助け合って生きていくと訴えている内容が心に響きました」などの感想を観覧者の方々からいただき、高齢化社会を迎え、多くの方に自助、互助の認識が必要であることを知ってもらえたと思います。今の高齢化社会の時代に高齢者は元より皆が生涯住みなれた場所で元気で暮らせるには、そういう認識を持つことです。これからも「助け合いをしましょう」がテーマの劇と「自助互助体操」を入れた演劇で人々に「助け合いを始めましょう」の活動を啓発していきます。

- 7月15日(日) サルサダンス演劇ワークショップ交流会（内野まちづくりセンター）
- 9月2日(日) 市民参加の演劇「越後新川物語」（内野まちづくりセンター）